

ギョクシンカ

か めい
科名 アカネ

べつ めい
別名

がく めい
学名 *Tarenna gracilipes*



く ぶん
区 分 もくほんるい
木本類

ぶん ぶ
分 布 きゅうしゅうちゅうぶ いなん おきなわ たいわん
九州 中部以南、沖縄、台湾

は かたち
葉 の 形 だ えんけい ちょうだ えんけい
楕円形、長楕円形

は ぶち
葉 の 縁 ぜんえん
全縁

は さき
葉 の 先 えいけい
鋭形

は しゅるい たんよう
葉 の 種類 単葉

は つきかた たいせい
葉 の 付方 対生

は きぶ くさびがた
葉 の 基部 くさび形

み しゅるい えきか
実 の 種類 液果

はな がくいろ しろいろ
花・萼色 白色

せつ 説
めい 明
山地の林内に生育し、高さ1.5-3mの常緑の低木です。葉は長さ6-18cm、幅2.5-6.5cmです。葉の表面は無毛ですが、裏面は短い毛が生えています。花は枝先にまばらにつき、花びらの先は5つに分かれます。西表島や石垣島には、葉が大きく長さ13-20cm、幅6-9cmのものもあり、変種ヤエヤマギョクシンカとして区別されています。